

この自己点検・評価報告書は、麻生公務員専門学校福岡校の平成28年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

自己点検・評価 報告書

麻生公務員専門学校 福岡校

平成29年 3月31日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 蓑原 睦

目 次

基準 1	理念・目的	- 2 -
基準 2	教育の内容	- 3 -
基準 3	教育の実施体制	- 4 -
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	- 6 -
基準 5	学生支援	- 7 -
基準 6	学生募集・受け入れ	- 8 -
基準 7	社会的活動	- 9 -
基準 8	管理運営・財務（学校・各部門）	- 10 -
基準 9	管理運営・財務（本部）	- 12 -
基準 10	改革・改善	- 14 -

平成28年度
(2016年度)

評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する（不適合）

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神、教育理念、教育目的、教育目標については、各種印刷物に盛り込み、学内外へ提示するとともに、Web サイトやパンフレット等を通じて発信している。また、学校の目標達成のための計画も事業計画書として作成するだけでなく、その具体的方針・方法も教務会議等で検討し、文書として保管している。

主な課題及び改善の方向性

十分に基準を満たしているが、建学の精神、教育理念、教育目的、教育目標について、学生へのさらなる周知を図り、理解を促進すること、また、具体的教育活動にさらに反映させていくことが望ましい。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像について明文化し、その共有・公表ともになされている。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育理念や校訓などを盛り込んだ麻生塾ルールブックを全教職員が持っており、随時参照すると共に、重要部分については会議等で読み合わせ・確認を行っている。また、パンフレットや募集要項、学生便覧にも教育理念や校訓などを盛り込み、提示している。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育理念は学生便覧に盛り込み、これを用いて学生への説明を行い、周知・理解を促進している。また、グローバルシテイズンベーシックの授業においてもここに言及している。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

職業教育機関としての観点から、毎年度、社会情勢・採用動向・業界事情等も考慮し、教育理念をどのように具体的に教育活動において反映していくかを教務会議において教職員全員で毎年度検討し、修正・調整を行っている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「法人の理念」および「各校の教育理念」を踏まえ、各学科の教育目的や育人人材像を設定し、さらに具体的な教育活動への反映をしている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットや Web サイトにて学科別の教育目標、教育計画たる年間タームを提示している。年間タームについては各教室への掲示、学生への配布も行っている。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

主要担当科目を含む教員情報は一覧化し、Web サイトでも公表している。また、教室割や予算書などを文書化し、管理している。

基準 2 教育の内容

項目総括

カリキュラムについては、外部関係者等の意見も取り入れ、検討・改善を毎年行っている。特に、学生の人間的成長を促すための教育については力を入れて充実化を図っている。また教職員についてもアンケート評価、評価結果に基づく研修制度等を準備しており、教育水準の向上を図っている。カリキュラム及びシラバスは学生への提示を行っている。

主な課題及び改善の方向性

シラバス・コマシラバスについては、まず年度当初に確実に全てが整備されていることを目指す。
人間的成長を促す教育については、今後もさらなる充実化を図る。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラムについては外部の方々の意見も取り入れ、検討・改善を行っているだけでなく、特に人間的成長に関わる部分についてはより広く多様な社会的経験を積ませることをテーマに、特に力を入れて毎年検討・改善を行っている。

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学科の育成人材像およびカリキュラムは、教育課程編成委員会での意見や社会情勢・採用動向・業界事情等も踏まえて設定・作成し、Web サイトやパンフレットにより社会に公表している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

管理職および各学科・学年運営責任者を中心にカリキュラム検討会議を行い、カリキュラム作成をしている。また、カリキ

ュラムに基づくシラバスは各学期の初めに学生に配布している、コマシラバスは各教科責任者を中心に授業担当者にて作成し、それに基づき授業をしているが、一部作成が遅れたり、内容が不十分であることが見られる。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育課程編成委員会には、業界関係者、近隣住民代表者、保護者代表者、高校代表者などが参加し、その意見をカリキュラム検討会議に反映している。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

シラバス・コマシラバスは各教科責任者を中心に作成されており、管理職にてそれらを取りまとめて全体の整合を図っているだけでなく、全てのシラバス・コマシラバスは全教職員が閲覧可能な場所に置き、全員でチェックが可能な状態になっている。また、毎年シラバスの見直しを行っている。

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業内容改善のための授業アンケートを実施しているだけでなく、内部研修制度が設けられている。また、外部研修へも教員が参加しており、学外教員との勉強会も実施している。

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年 2 回(前期・後期)行っている。また、その結果を元に、必要に応じて管理職による面談やアドバイスを
行っている。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

麻生公務員専門学校北九州校とも連携して、各学科又は担当科目の教員により会議を行い、教科書開発や情報共有など、授業改善のための組織的取り組みを行っている。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果: B

■コメント

麻生塾として教員研修計画を作成し、教員のスキルアップを図るべく研修を実施し、教員も研修に参加している。また、外部の研修にも毎年参加している。また、年に 2 回ほど提携高校の教員との勉強会を行っている。

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■自己点検・評価結果: S

■コメント

リメディアル教育、キャリア教育に加え、特に人間的成長に関わる部分についてはより広く多様な社会的経験を積ませることをテーマに様々な教育を実施している。

小項目 2-3-8 適用除外

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

公務員の職業理解を促進する授業を行うと共に、社会人として求められる素養や考え方についての授業も実施しているのに加え、より広く多様な社会的経験を積ませることをテーマに一人間としての成長を促す教育も実施している。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 入学前の学生に対する事前教育を実施するとともに、また入学後も放課後・夏休みなどに基礎教育を行っている。

基準 3 教育の実施体制

項目総括

公務員試験合格に向けて、勉強に専念できるような人的配置・環境整備をしている。
また、非常勤講師から授業での感想や意見をヒアリングしてすぐに対応できるようにしている。

主な課題及び改善の方向性

非常勤講師との協力をさらに深化・充実化させる。
また、今後の学生募集状況に応じ、教室数増加をはじめ、教育環境の整備・充実化を図る。

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

クラス数を基に十分な常勤講師の員数を備えている。また、主要科目を中心にほぼ全ての科目について担当できる教員が複数名おり、授業担当者以外の教員からもサポートが受けられる体制となっている。非常勤講師とも情報交換を密に行っている。

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

各科目・分野別に教員が複数在籍しており、必要十分な教員数といえる。また、年齢構成も 20 代～50 代まで複数に在籍している。

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

各期開始前には各科目責任者と当該科目担当の非常勤講師との打合せを行い、授業方針のすり合わせを行うとともに、定期的に非常勤講師の授業進捗状況を確認し、情報交換を行っている。また非常勤講師が作成した報告書を定期的にチェックしている。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

設備・備品の管理体制は整っているが、その破損・故障等の状況の把握が遅れていることがある。また、現状では教室は足りているが、今後の学生募集状況によっては不足が現実化するおそれがある。

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

PC、複合機、コピー機をはじめ、10万円を超える固定資産について管理がなされている。机・椅子も同様である。

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

官公庁実習についての注意事項をまとめた文書があり、学生への事前指導をしている。また、学生・生徒災害傷害保険や、必要に応じてボランティア保険への加入もしている。

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各担任がホームルームや教務室にて随時指導したり相談を受けたりしている。また、PCルームを利用して受験情報を収集することもできる。面接報告書を各教室に設置している。民間就職については、就職グループが支援している。

小項目 3-2-7

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

福岡キャンパス10号館に設置している。また、利用について学生へ周知・指導を行っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

公務員試験に合格するための指導は徹底されており、目標数値などを含めた受験戦略やクラス運営は担任指導を基本としつつも、学科単位で学生の面倒を見ることとなりチームで目標達成に向けて取り組んでいる。

また、結果については外部へも公表するため、結果集約・管理・検証がきちんとなされている。

主な課題及び改善の方向性

学生・保護者満足度のより高い合格実績を出すことを目指す。

=====

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

全教職員にて教育方針統一、目標の設定・共有、結果の分析と反省ができています。

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員試験に合格するための授業を展開している。期末試験は委員を中心として成績処理しており、麻生塾システムへ入力・出力して各家庭へ送付している。試験の内容については非常勤講師も含めて事前に周知しており、授業内容とリンクするように問題を作成している。実施後に問題点の洗い出しを行い、次回に反映させている。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キックオフにて目標を掲げている。また、公務員受験に関しては管理ファイルを用いて全体を把握しており、教務会議を通じて過年度の傾向を踏まえて受験戦略を話し合い、結果についても管理ファイルで一覧でき、これをもとに会議にて総括している。

小項目 4-1-3

適用除外

小項目 4-1-4

適用除外

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教務会議にて目標数値を教員間で共有している。退学懸念や退学決定の学生に関しては保護者を交えて面談し、その報告書を作成・保存している。教務会議においても情報共有している。また、ホームページにて在籍者数や卒業生数に加えて退学者数を公表している。

基準 5 学生支援

項目総括

学生は在学時に勉強・学校生活に集中できるよう支援の体制を整備している。問題発生時や気に掛かる事案などあればすぐに保護者連絡をすることとなっており、場合によっては保護者に来校していただいて三者面談を実施している。さらに、特待生制度をはじめとする経済的支援も充実している。

主な課題及び改善の方向性

学習障害を抱える、またはそれと思しき学生の入学例も見られており、そういった学習に困難を抱える学生の支援について、教職員が知識・ノウハウを身につけると共に、組織的な対応態勢を整備することが必要である。身体障害を持つ学生についても同様である。

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

担任を中心に、学年・学科・学校と様々なレベルでチームとして学生に対応する体制が整っており、その意識も共有されている。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学後に担任との面談を必ず組んでいる。また、受験年次は受験願書提出ピーク期を前にして個人面談を実施する。非受験年次は進級時に保護者を交えて三者面談を実施する。また、問題が発生次第随時面談を実施しており、ガイダンス記録表に詳細に記入する。この情報は周知され共有ファイルに書類を保管している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年間計画に従って、保護者説明会、三者面談を実施している。また、保護者・学生からの要望に応じ、または学校側からの打診により、随時必要に応じて保護者との面談を行っている。さらに、直接の面談ではないが、保護者通信を定期的に発行し、学年・学科・学校の状況をお伝えしている。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

福岡キャンパスとして有資格者が在籍し、指導・対応を行っている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生相談室を設置している。これらは担任が学生の様子を見て必要に応じて利用を促している。

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する相談メールアドレスを周知している。有効な活用がなされているかは守秘義務との関係上、必ずしも明らかではない。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

公務員試験の性質上、留学生は受け入れていない。社会人については中上級クラスで受け入れている。障がい者等については、入学前に面談を組むなどして保護者を踏まえて十分に説明し、学校生活と受験に関しての理解をしていただいた上で受け入れている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

非受験年次においては希望者を募って部活動参加を認めている。公式試合などに際しては公欠扱いするなど配慮している。さらに、柔道の段位取得や、ボランティア活動への参加についても支援を行っている。また、これらの活動はオープンキャンパスやパンフレットなどを通じて公表もしている。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント Web サイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。その他、再斡旋を希望する卒業生と直接面談をするなど、積極的な支援を行っている。

小項目 5-2-9

適用除外

小項目 5-2-10

適用除外

小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 最新の情報を適正に発信、随時更新している。

基準 6 学生募集・受け入れ

項目総括

アドミッションポリシー、目指す就職先、学費・教材費等、入学選考、公務員受験結果などはすべて募集要項やパンフレットに記載している。

主な課題及び改善の方向性

定員数の見直しや、学生募集状況に応じた施設・設備の拡充が課題である。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集要項やパンフレットにて育成人材像、入学試験の内容や基準、学費等の必要な情報を明記・公表しており、これに基づいた公正な入学選考を実施している。

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集要項に記載している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 高等学校を定期訪問するための専門職を置き、ニーズの把握、募集活動への反映に努めている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットに記載している。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレットに育成人材像、目指す就職先、修得できる知識等を明示している。

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集要項に記載し、現実に即した適切かつ妥当な金額であることを毎年度確認している。

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学者先発方法は募集要項に明示している。また、入学者選考の結果は毎年度集約し、分析をしている。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公務員希望者のニーズを満たすべく募集要項記載の定員を上回る学生数を受け入れているが、定員数の見直しを行う予定である。建物・教室数に対する収容人数は適切である。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

公務員という職種性質上、ボランティア活動は積極的に参加するよう指導している。
各官庁から参加依頼・参加協力の声が掛かることもあり、可能な限り参加することとしている。

主な課題及び改善の方向性

ボランティア活動への積極的参加だけでなく、それを学生の成長にいかに関結につけるかについてさらなる工夫が必要である。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

官公庁や関係諸団体との連携・協力により、計画的・組織的にボランティア活動への参加ができている。また、本校教育活動の地域社会(高校・大学等)への還元についても十分に実施できている。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各官庁からの依頼のものも含めて、年間複数回にわたってボランティアを学生に紹介し(完全希望制のものや動員を図るものなどさまざま)、実施している。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

高校生向けの公務員講座や、高校での出張授業・連携授業、大学への教員派遣などを行っている。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各官庁から毎年依頼されて、年間複数回にわたってボランティアを学生に紹介し(完全希望制のものや動員を図るものなどさまざま)、実施している。

=====

基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）

=====

項目総括

会議の開催、各種規程等の整備・共有により組織の管理運営は適切になされているが、改善の余地も大いにある。
財務体制については、予算計画書・報告書の作成や会計検査実施などにより適切になされているが、財務について教務側でも理解を進めることが課題といえる。

主な課題及び改善の方向性

上記の通り、組織の管理運営は適切にはなされているが、関連法規の理解の促進、事務処理の正確性の向上、必要文書の適切な作成・保管、財務についての教務としての理解促進など、課題も多い。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾としてのルールブックが整備されていることに加え、本校としての業務マニュアルも整備されており、最低限適切な管理運営はなされている。

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行うか、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

定期的に行うか、議事録も作成している。また、これらに基づく部門内、学科・学年内での共有検討も行われている。

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

組織図において各教職員は把握している。また、校務分掌は業務マニュアルに記載している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

各種マニュアルはイントラにアップしており、いつでも閲覧できる状態にある。また、年1回、避難訓練を実施しているが、より実戦的・実地的な避難訓練への改善を図る必要がある。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報保護規程は周知共有され、必要に応じて参照しながら個人情報保護にあたっている。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止委員会を設置しており、ハラスメント防止ガイドラインを周知共有している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

研修計画に基づき、必要に応じて研修に参加している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

関係法令と学内規程に基づき、適切になされている。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度予算を策定している。中期計画そのものではないが、事業計画書において5年後の事業計画を掲げている。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

予算執行についての月次報告書を作成し、経理部門と共に確認・分析を行っている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務部門作成の固定資産管理規程に従って管理されている。

小項目 8-2-10 適用除外

=====

基準 9 管理運営・財務（本部）

=====

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 規程通りに運営している。

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

財務体質は良好。月次での予算管理、四半期での報告など適切に運営されている。

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント ほぼ達成しているが、周知が不足している部分もある。

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。
図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

=====

基準 10 改革・改善

=====

項目総括

自己点検・評価委員会を中心として自己点検評価・改善活動を行い、次年度に活かしている。
また、結果は Web サイトを通じて公表している。

主な課題及び改善の方向性

管理職および自己点検・評価委員のごく数名が中心となって自己点検業務にあたるため、他教職員への浸透という点では課題がある。受験指導繁忙期と本委員会活動の期間が重複することもこの課題をより難しくしている。まずは、管理職内で自己点検活動の重要性と流れについて理解を深めることが肝要。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

実施そのものはできているが、上記の通り、管理職および自己点検・評価委員など、一部教職員での活動になっており、学校全体を挙げての取り組みになっているとはいえない。

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

自己点検・評価項目一覧表に「めざすべき目標像」が明確になっており、レベルを評価できる状態となっている。自己点検・評価活動を動かす委員会を組織し、各職場で管理職と委員が中心となり、自己点検評価活動を行っているが、自己点検・評価活動の意義や必要性の全体共有・理解促進という点で改善の余地がある。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

全体教務会議内で共有の機会は設けているが、最低限の共有にとどまっており、そこからの有機的・効果的な改善活動へのつながりという点では改善の余地がある。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

上記同様、自己点検・評価からの有機的・効果的な改善活動へのつながりという点では改善の余地がある。

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

内部監査は組織的に行われており、改善活動への反映もしているが、ここもやはり学校全体を挙げての取り組みという点では改善の余地がある。

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

公開している。